本紙は女性による平和と平等を推進します

回覧

発行所
全国婦人新聞社
〒160 東京都新宿区西新宿3-7-28 宝幸西新宿ビル
電話 03(3343)1846代
FAX 03(3348)1890
振替口座 東京(5)172320

全国婦人新聞

ご購読料
1年 5,000円
（郵送料900円を含む）
現金・切手・振替で前納
月3回発行
10日・20日・30日

《品質本位》のうすくち
東 うすくち ヒガシマル醤油
＊ヒガシマル醤油株式会社

女の力で緊急避難所建設の動き

売春強要の実態知る
タイの救援組織と連携も
横浜市の「女のスペース〝みずら〟」の活動

年を追うごとに増えつづける外国人労働者。都会だけでなく、オヤと思うような山間等で働いていることも多い。女性の場合、売春強要など〝性〟がからむため問題が深刻である。日本の性産業のすさまじさに手をこまねいていられないと、問題を正面から見すえるグループや、女たちの力で緊急非難施設をつくろうという動きが出ている。

近ごろの特徴は、これらの女性たちが、ひところのフィリピンからタイに移っていることだ。

外国人女性たちの〝かけこみ寺〟「HELP」の統計でも、ことし一月から四月までに来所した外人女性は百十人。昨年同時期の三倍にふえ、うちタイ女性が九二%を占めるという。'88年ごろから入国者の中でタイ女性の占める割合が激増。それと比例して「HELP」くらいしか施設がない現状だが、横浜の女性の間で、いま真剣に、外国人女性がショートステイできる場所をつくろうという計画が進んでいる。

計画をたてているのは横浜市にある「女のスペース〝みずら〟」のメンバーたち。〝みずら〟は、横浜駅に近い、マンションのニDKを借り、昨年五月全国でも珍しい女性による民間のよろずかけこみ相談（電話相談）と労働相談（女のユニオンかながわ）を行い、趣旨に賛同する会員たちの会費で運営している。

タイ女性をショートステイさせて、と頼まれたのは五月はじめ。この女性は、日本でウェイトレスをすれば金になるといわれ、来日したところ、「借金がある」と茨城県につれて行かれ、売春を強要された。あまりの辛さに夫に手紙を書いたのがきっかけで、いくつかの日本の救援団体がリレーで救出。〝みずら〟にかくまってくれと頼まれた。泊めることにしたものの、タイ語のわかる通訳をさがしたり、あわてて出稼ぎ女性の事情を勉強したり、スタッフは走りまわった。この女性の場合、偽造旅券で来たいたので、身元の証明できる書類を整え、タイ大使館で正規の旅券をとらないと、帰国しても〝公文書偽造罪〟に問われる。大急ぎで書類を整え、旅券をとりにタイ大使館に行くと大使館員が三人の女性を伴って出てきた。何ごとかと思っていると、ついでにこの三人も泊めてやって、といわれ、仰天した。

聞けば、タイ大使館に逃げこんで来る女性が多く、物価高の東京で大使館を維持するだけでも大変なのに、とてもこうした女性を食べさせ、国に帰る旅券を支給することはできない。なんとか泊めてやってほしいという。

一人が四人になって、〝みずら〟に帰ってきたのだが、その次の日、入管に事情を話しに行くと、入管でもまた一人のタイ女性をあずけられてしまった。この女性の場合、来日したはかりで、パスポートも自分自身のもの。〝何の違反もない〟から入管に泊めておけないという。〝みずら〟のメンバーは、あわてながらも、五人の航空運賃等をかき集め、タイに帰国させた。

アジア女性の人身売買のけわしい現実を知った〝みずら〟のメンバーは、六月に横浜で「アジア出稼女性の実態を考える集会」を開いた。松井やよりさんの「なぜ日本に来るのか――売買春の背景」という話や、名古屋の救援団体〝あるすの会〟の杉浦明道さんに「タイ女性の人身売買のシステム」を聞いた。杉浦さんの話では、タイ女性は日本の風俗営業に来るまで、三つくらいブローカーが入り中間搾取をするので、日本の店につく時、三百五十―四百万円の〝借金〟を負っている。本人や親は一円ももらっていないことが多い。〝借金返済のため、働いても給料は零。借金を返す手段は〝売春〟しかない。

そして、いま、タイ国内には、この種のエージェントが百以上あって、次からつぎへと日本などへ女性を送り出す。〝売春〟と知らず、だまされて来る人も多い。

こんな実態を知って参加者から「日本の女性として何かやるべきだ」という声が出た。発足したばかり、まだまだ運営が大変な〝みずら〟だが、何とか横浜に国際的な人権感覚を持たなければいけない、苦しんでいる人たちの声を聞く、そのためには様々なグループが力を合わせて行政に訴える情報ネットワークを強めていく」など、外国人労働者の問題をあらためて日本社会の内側から考えることが求められているのを確認した。

今回、シンポジウムを主催した「在日外国人の人権を守る会・北海道（SPR）は、一九八九年六月に、異国で生活している人たちの手助けをしよう、という思いではじめられた会。ただ単に手をのべるだけでなく、国籍をこえて共に考え、共に生きようというもの。

札幌でも多くの在日外国人が暮らしており、特にスキノではフィリピン女性が多く働いている。英語とタガログ語による電話での相談窓口を設置している。

SPRでは「調査」「学習」「支援」を三本柱として活動をおこなっており、電話相談の他に、日本語教室や講演会の開催、カトリック教会の英語ミサに協力し交流会を実施するなど、きめ細かな活動を展開している。

また、月一度例会をもち広い視野から話し合い、学習している。

現在の会員数は約百名で主婦、サラリーマン、学生、キリスト教（超教派）関係者らが参加している。

SPRの問い合わせ 〒064 札幌市中央区南3条西11丁目南3条第3公団AP809斉藤気付 ☎011・272・3819

（中西春代）

タイで発行されている「アジアの女性の友」の機関誌

着実に伸びしめす
国の審議会等女性委員

総理府は今年三月末現在の、国の審議会等における女性委員の参画状況について調査を行ったところ、女性委員の占める割合は九・〇%で、前年の七・九%に比べ、着実に伸びていることがわかった。

なお、女性委員を含む審議会の比率は七五・九%（前年六九・一%）、女性委員が増加した審議会等は三十九。女性委員が一〇%以上の審議会等は八十一で全体の三九・九%である。

たんぽぽ

七日夜、日本テレビ系列で放送された「知ってるつもり」は感動的だった。まずこの日の主人公、杉原千畝という名を見、首をひねった。全く初耳だったからだ。▼見始めて、こんな人がいたのかと驚いた。第二次大戦中リトアニアの領事に就任。そこへナチのユダヤ人虐殺が始まる。オランダがユダヤ人にキュラソー島（カリブ海）へ行けるように計らうが、海路はナチの手で閉ざされ、シベリア鉄道を横断、日本から船で行くしかない。日本のビザがとれればソ連のビザが出、脱出できる。リトアニアに逃れたユダヤ人は、日本領事館に殺到した。当時、日本とドイツは同盟国、ビザを出すことを日本の外務省が許す筈がない▼決意した杉原は独断で発行する。リトアニアがソ連に併合され、早く退去せよと本国から命令がくるが、ぎりぎりまで、汽車に乗る瞬間までビザを書きつづけ、書いたビザの数何と六千余▼戦後帰国した杉原は、勝手にビザを出したと辞職を勧告され、職も転々、苦労した。救われたユダヤ人たちが〝恩人・杉原〟を捜し出す。イスラエルで杉原の名は永遠に忘れられていないのだが、日本ではほとんどの人がはじめて知ることだろう。▼それにしても日本の外務省のバカさかげん。杉原のしたことを称え、戦中でも日本にもこんな外交官がいたとPRすれば、日本で見る眼もずっとちがったろうに▼杉原は〝外交官として当たり前のことをしただけ〟といったという。「知ってるつもり」の出演者たちは当り前のことをするのがむずかしいといっていた。が、私は〝当たり前〟ではないと思う。外交官の当たり前は〝国益〟に従うことだろう。杉原は人の生命を〝国益〟より優先させた。半世紀の歴史は〝目先の国益〟より生命の尊重が、もっと大きな国益になっていることを証明している。

外国人労働者問題を考える

変わらぬ差別思想
今の日本の問題を見る

【札幌】国境なき時代のメッセージ「仲間じゃないか！外国人労働者」と題したシンポジウムが、六日、札幌市市民会館二号室で開かれた。在日外国人の人権を守る会・北海道（SPR）と日本聖公会北海道教区宣教部の主催。

一人でも多くの人に、在日外国人をとりまく実情を知ってほしい、と開かれたもので、北海道では初めての集会。

パネリストは、スーザン・藤田さん（在日フィリピン女性連盟北海道支部代表）、ナンシー・サブクさん（フィリピンの女性人権擁護団体「ガブリエラ」の常任理事で宣教師として来日）、山野繁子さん（NCCキリスト教アジア資料センター総主事）の三人。

スーザン藤田さんは「一番、心を痛めているのは農村花嫁と興行のため来ている女性たちだ。何人かの女性が雇い主から逃げて来たのを知っている。実際の契約（ダンサーとして）以外の仕事（ストリップ）を強要されたためだ」。一部の日本男性について「彼らのフィリピン女性に対するイメージは〝遊び相手〟なのだ」と怒りをこめて語った。

ナンシー・サブクさんはフィリピン女性を助けるために、アパートを訪ねたり電話でカウンセリングをおこなっている。その中で接したある女性の例をあげ「彼女の働いた店では、遅刻すると一分につき千円引かれ、身体の具合が悪くても病院につれていってもらえない」。また、日本に送られてくるシステムに触れ、「何人もの仲介者が手数料を取っている。契約書どおり賃金をもらえず、前金をもらっている場合などは、売春をしなければならない立場に置かれてしまう」と述べるとともに、日本が第三世界にとってたいへんな影響を及ぼしていることを強調した。

最後に山野さんは、日本がアジアに対して、開発援助という名のもとに、自然を破壊し人々の暮らしを圧迫している現実を報告。

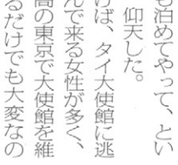
企業が第三世界に進出していく中で、ODA（政府開発援助）が果たしている役割の問題点を説明。「ODAを使って日本企業が合弁として入っている。だが、地域住民との話しあいはなされない。日本がアジアで経済的支配を探ってきた背景の一つとして、ODAが利用されてきた」

また、「第三世界のインフレ、失業の原因として、対外債務の問題がある」と述べ、北の世界の利益追求を中心とする南北間の経済格差が根底に横たわっていると指摘した。

これらの問題提起の後、外貨獲得のため、日本に来る外国人労働者に、日本人として何をしたらよいかが話しあわれた。「（不法就労の）違法状態を解消するSPR代表の牧下徳子さんは、「在日外国人との係わりの中から、日本の社会の問題にも今の日本の問題が凝縮されているのでは」と言う。

「試行錯誤を重ねてやってきたが、『調査』が一番むずかしい。（外国人労働者の人たちがどこに住み、どんな生活をし悩みを持っているのか。不法就労でかくれて働き、もっとも困難にあっている人々に出会うのがむずかしく、彼らの姿が見えてこないのが大きな問題。私たちの会の存在をどのように知らせたらよいか」と言っている。

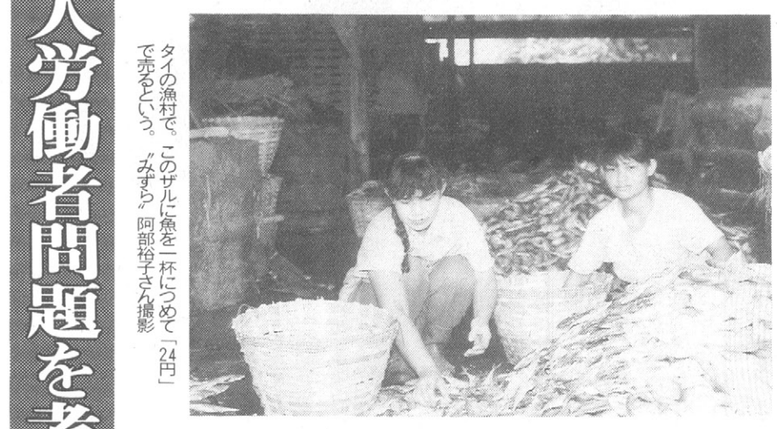
左から山野さん、スーザン・藤田さん


ナンシー・サブクさん

牧下徳子さん

仲間じゃないか！外国人労働者

札幌で初のシンポジウム開く


タイの漁村で。このザルに魚を一杯につめて「24円」で売るという。〝みずら〟阿部裕子さん撮影

海外通信

狩野美智子

南北アメリカへのバスク人の移民は、十六世紀以来延々と続いて今に至り、その数は膨大なものになっています。そういう中でアメリカ合衆国のネバダ大学には、バスク学のコースがあり、アメリカ大陸におけるバスクの学問、文化の中心になっています。

ネバダ大学が出している「ニューズレター」には、毎号興味ある記事が載りますが、九〇年十月号の、「ある家族の歴史」をここで紹介したいと思います。

ビスカヤのベラロナという村に、一七九六年からベンゴエチェア一家が住んでいました。ところが、十九世紀の二度のカルリスタ戦争で、この家族は大きな被害をうけ、兄弟のうち一番上のガブリエルが新世界へ、運を試しに出かけることになります。従兄たちがアメリカにいたので、仕事の世話はしてもらえるでしょう。

ガブリエルは夢中になって働き、お金を貯めて、十年もたないうちに、自分の農場をアイダホ州のオウイヒー郡に持つようになりました。弟ホセとメリトンを呼びよせたのもその頃です。二人の弟はすぐに独立し、ホセはアイダホにホテルを経営し、銀行の副頭取にまでなりました。

もう一人の弟メリトンは、三十歳前に自分の農場を持ったのですが、結婚相手を探すために、故郷の村に帰ってきます。ベダロナ村では、このニュースでもちきりでした。戦争だの移民だので、村には男が少く、結婚できない娘は都市に女中に出なければならなかったので、村の娘たちの熱い目は、メリトンにそそがれたというわけです。メリトンは幼馴染のフローラを選び結婚しました。

二人はビルバオ港から船に乗り、一九〇〇年六月六日にニューヨーク港に着きました。フローラは、航海中ずっと泣いていたそうです。その時メリトンは二百ドル、フローラは三十ドル持っていて、それは当時としてはちょっとした財産でした。

二人は懸命に働き、三人の子供、ルイス、フローラ、バルビナを得ました。そして何年かたち、メリトンとフローラは故郷で余世を送ろうかと、考えました。村の近くのレケイティオは、美しい大きな港町ですが、そこに家をつくって、利子で生活をしようかと……。ところがその時、第一次世界大戦が始まって、ヨーロッパでは食料不足から、戦後肉の価格が高騰するだろうとそのかされて、メリトンはもう一儲けのつもりで、家畜を買い漁り、結局買値よりずっと安く売る破目になってしまいました。その痛手のせいか、メリトンは亡くなります。

フローラは三人の子供を連れてバスクに帰り、有金をはたいてレケイティオに家をつくりました。その時モロッコで戦争になり、長男のルイスが徴兵されそうになります。本来未亡人の長男は兵役免除なのですが、娘たちをエレガントな女学校に行かせていたため、長男の家計援助は必要ないと判断されてしまったのです。フローラは義弟のホセに手紙を出し、ルイスを呼びよせてもらいます。こうしてルイスはアメリカで働くことになりました。そして従妹のアナと結婚し、ルアナという娘が生まれました。

ルイスの妹二人はバスクで結婚しました。また戦争があり（スペイン内戦）、またバスク、アメリカ、メキシコ、スペインに散らばり、戦争や独裁政治や亡命や移民を体験し、異なる言語で生活をしています。

バスクのどこの家庭でもそうだというような気がします。たとえば、マイテの妹ロレアはベネズェラに住み、亡くなった弟の家族も南米にいます。働き者のバスク人は、アメリカに渡って成功している人が多く、成功した人はバスクから来た新しい移民を雇い、成功への足がかりを与えます。

スペイン内戦に敗れ、バスク自治政府が亡命していた四十年もの間、それを経済的に支えたのは主としてアメリカのバスク人たちだったのです。フローラは義弟のホセに手紙を出し、ルイスを呼びよせてもらいます。こうしてルイスはアメリカに渡ったバスク人

〝下請け報道人〟に手厚い補償を！

普賢岳火砕流事故のＴＶ局犠牲者の図式について思うこと

森部　聡子（もりべ　としこ）

六月三日の雲仙・普賢岳の火砕流事故で、ＫＢＣ九州朝日放送（ＴＢＳ系）の二人が亡くなられた。ご冥福をお祈りしたい。

一報は、ＴＢＳ報道局の緊急連絡網で知った。「ＫＢＣの人が亡くなったらしい」。ＴＢＳ報道局内は騒然となった。

その後、ＴＢＳ系列の各局は、ＫＢＣ九州朝日放送では

みんなで創ろう福祉の暮らし

○…第14回札幌社会福祉大会の多彩なプログラム…○

市民と連帯強める

表彰や記念講演シンポジウムも 充実、向上めざして

様々な分野からの参加・協力が必要…。第3部のシンポジウムで

【札幌】「みんなで創ろう――優しく安心な福祉の暮らし」のテーマのもとに、六月十九日、第十四回札幌市社会福祉大会が開催された（主催・札幌市社会福祉協議会と札幌市、場所・市民会館ホール）。

――◇――

地域福祉の重要性が叫ばれている中で、誰もが安心して暮らせるように社会福祉関係者や市民が一堂に集い、相互理解と連帯を強め、地域福祉を考えようというものだ。今年は社会福祉協議会創立四十周年にあたり、社会福祉事業法を含む、一連の社会福祉制度の改革により、地域福祉の中心としての社協の働きに関心と期待が寄せられている。

第一部、オープニングアトラクションのコーラスに続き、主催者あいさつの後、社会福祉に貢献のあった人（主に民生委員や民間の福祉事業関係者など）及びボランティアグループの表彰が行われた。授賞グループの中には、特殊学級の児童との交流活動、肢体不自由児に対する水泳指導や、また各施設での介護、援助活動も多数占めている。

第二部では「これからの世の中と市民の役割」という演題で坂巻熙（ひろし）（前毎日新聞論説委員、淑徳大教授）さんによる記念講演。

講演で坂巻さんは、高齢化社会に向かう今、目に見えるモノサシでは測れない数の人たちの福祉」などという古い考え方では、たち遅れてしまうだろう。

「人に迷惑をかけなければ生きていけない人々を喜んで引き受ける人をどのように育ててゆくか」。坂巻さんの言葉はどれもなおさず、コミュニティをどうやってつくりあげていくか、ということである。

締めくくりとして、地域社会の担い手としての女性の果している役割の大きさを述べる。けれども女性にばかり比重を置くのではなく、男性や子供の参加も推し進めて、縦から横へのつながりの価値観へと変えていかなければならない、と語った。

その後の第三部では「さっぽろの地域福祉を考える」と題してシンポジウム。シンポジストは金子勇（北大文学部助教授）、川島利子（栗山町立道介護福祉学校副校長）、田中シノブ（市民生協社会福祉基金副理事長）、三宅浩次（札幌医科大学副学長）さんら四名。

それぞれ、都市構造にあった地域福祉の研究、マンパワーの養成、在宅福祉サービスの実践、保健、医療福祉の統合の研究という立場から報告があった。

シンポジウムを通して、講演内容とも関連することだが、地域福祉の充実と向上のためには、実に様々な分野からの参加協力が必要だということと、人として共に生かされている喜びに動かされながらの〝実践〟に尽きる、ということが確認された。

中西春代

ごみ問題と差別描く

七月二十七日からキネマ大森で公開 心の交流も問う

映画「あーす」（金秀吉監督）

パッカー車（ゴミ収集車）に興味をもち、収集作業を手伝うようになった少年の目を通し、環境問題、職業差別、さらに人間として大切な「心」のあり方を問いかける映画「あーす」（金秀吉監督）が、七月二十七日から東京・大森東口のキネカ大森で公開される。

「あーす」の原作となったのは、大阪市内に住む小学校教師・西田好子さんの書いた「ぼくは小さなごみ屋さん」（同市内の映画館・サンポード・アップルシアターが創立八十年を記念し、製作を企画、シナリオ原案公募で寄せられた七十二編のうちの一編。四歳の頃からパッカー車に興味をもち、あとを追いかけるようになった西田さんの次男・順平君のことを書いた実話を、金監督自身が脚本化した。

映画の主人公は小学三年生ぁっの良平。祖父母、母、兄と暮らしている。日課としている早朝マラソンの途中で見かけたパッカー車に憧れた良平は、作業員の翔一とも知り合い、やがてごみ収集を手伝うようになる。

家族は、危険、汚ない『みっともない』と反対し、当惑顔。兄も「お前の弟は、ごみ平や」と、学校でいじめられるしまつ。しかし良平は「自分はやりたいからやるんだ」と意志を貫く。

収集を手伝うようになった良平が見たものはまだ動いている時計、ペットとして飼われていただろう小鳥の死がい、ごみ袋を突き破り飛び出ているカミソリの刃、まだ食べられる真っ赤なリンゴなど……。リンゴを手に良平は「捨てられているのはごみではなく、人間の心だ」と思う。

そんなある日、翔一がごみ袋に入れられていた消火器の爆発で大ケガをする。広告チラシの裏に「危険なごみやめて」と書き、雨の中、掲示板に貼って歩く良平。自分の信念を貫く良平に家族やいじめっ子たちもしだいに心を動かされていく――。

「なんで人の気持のわからん人が、こんなに多いんや！」という良平の叫びは、豊かさに慣れきった、身勝手な大人たちへの痛烈な批判と受けとれる。レストランで平気で食べ残された料理、ごみ処理場で処理される膨大な分量のゴミなどの場面に思わず反省させられる人も多いのではないか。

映画は昨年八月にクランクイン、五千万円というギリギリの予算で、約五十日間で撮り終えた。篠田三郎、田中実、芦屋小雁らが出演。主役の良平はじめオーディションで選ばれた約二百名の子供たちが一生けん命がんばっている。

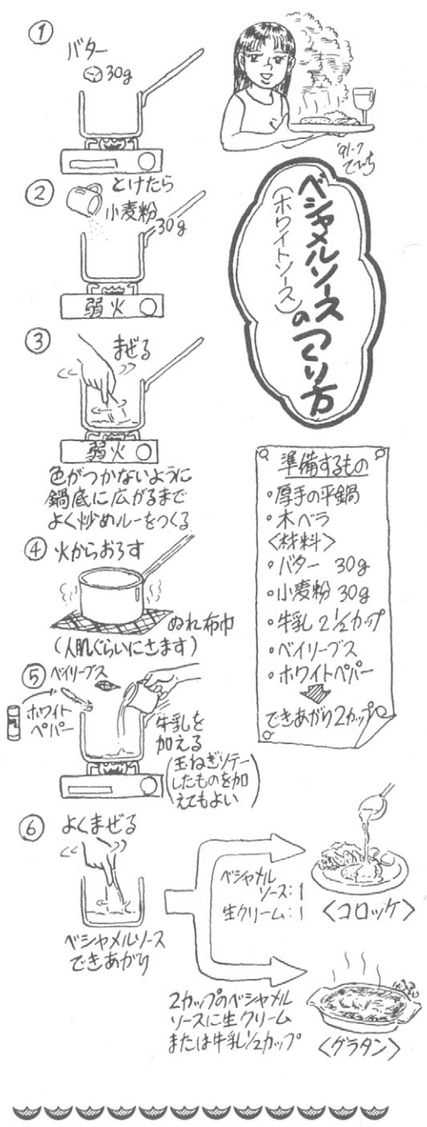
題名の「あーす」は地球という意味のほか「接地」とか「明日」の意味が込められている。金監督は「環境や職業差別、人権問題とともに、親と子、子供同士、教師と生徒など、人間の真の交流とは何かをこの映画で問いかけたかった」という。

キネカ大森（西友大森店五階）でのロードショーは八月二十三日まで。問い合わせは「あーす上映委員会」☎03・3399・0504。

作業員の翔一と仲良くなり、ごみ収集を手伝うようになる良平

エンジョイスパイス

ベシャメルソースのつくり方（ホワイトソース）



準備するもの
- 厚手の平鍋
- 木べら
〈材料〉
- バター 30g
- 小麦粉 30g
- 牛乳 2½カップ
- ベイリーブス
- ホワイトペパー

できあがり2カップ

西洋料理のソースの基本と応用を前回図で説明いたしました。今回はベシャメルソース（ホワイトソース）に挑戦します。

一般家庭でソースを作るのはとても難しいと思いがちですがポイントさえ知っていれば、案外簡単です。そのポイントはダマを作らないことです。バターを溶かし小麦粉と炒めたものをルーと言います。このルーに牛乳を加える時、できるだけ温度差をなくすため、ルーを一肌くらいの温度にさますと失敗がありません。それでも、心配な時はタマネギのみじん切りをソテーして加えるとよいでしょう。

スパイスは、ルーに牛乳を加えて延ばす時に少量加えるだけ。ベシャメルソースは、グラタン、コロッケに使います。

（資料提供　ライオン家庭科学研究所／本文・園田ヒロ子、イラスト・細田貞一）

「クリッパンの老人たち」

スウェーデンの高齢者ケア

外山義　著

今、突然、ケガをしたとする。病院に入院し治療に専念する。それは、非常事態であるが、将来的には回復してもとの生活にもどれるという見通しの中での、犠牲である。しかし、老人が脳溢血で倒れ、入院したとする。それ自体は非常事態であるが、それがそのまま長期化・慢性化してしまう。それまでの生活リズムを壊し、その人自身を蝕むことになる。

老人への施設ケアは、まさにそのようなものである。今までの慣れ親しんだ環境から切り離され、生活が蝕まれた人が、ボケ症状を呈するのは、当然のなりゆきではないか。

このように考える著者は、八〇年代、高齢者ケアの比重をより在宅に移そうとしているスウェーデンに留学していた。かの地での福祉の流れをふまえ、老人へのインタビューをもとに構成されたこの報告は、日本の今後を示唆している。

（羊）

んぽ

高野瀬順子著　監修山谷えり子
出産ストライキ
産めない理由、産まない理由

●産めない理由、産まない理由

〔新聞書評〕低出産率（一・五七ショック）が論議を呼んでいる。本書は一百余人の女性たちに聞いた「産めない理由」「産まない理由」の本音のインタビューを中心に、ベビー担否の真因を多角的に探った社会条件づくりに連なる一歩と位置付けている点など、示唆に富んだ幅広いタイムリーな出産スト白書だ。本書が例えば育児休業法の拡充を、老若男女を問わず「住みよい社会」を呼ぶ――。登場人物　安藤和津、加藤タキ、南美季子、庄野真代、黒田あゆみ、あいはら友子、八神純子、稲葉喜美子、小野清子、日下部裕代子……等

〔山谷えりさん評〕……心躍的、社会的、時代的、そして文学的――自らの深い悲しみを知り、二三七人を否定することなく受入れる著者の人間への深い愛の香りがする。

東京・新宿・高田馬場4・4・20　叢文社　☎03（3360）6606　¥1000　〒260円

本当に美しい魚です

カツオの刺身にレモンをかけて

おさかな東西南北

ペルーの巻③ボニート

魚はヒラメ、カツオ、サバ、タラ大きな赤貝などよく売っていました。丸のままゴロッとおいてあって、自分で料理しなければダメ。ペヘレイという魚があって海の魚ですが、アユのような形、姿のきれいな魚で、とてもおいしかったのを覚えています。

リマのすぐ近くにカイヤオという漁港があって、ここにいいカツオがあがると、私の方に電話がかかってきます。私の家でカツオが好きなのを知っているのです。大勢の家族でしたので、大きなのをまるまる一匹、刺し身にし、レモンをたっぷりかけて食べたものです。カツオはスペイン語でボニート。ボニートは美しいという意味で本当に美しい魚だと思います。

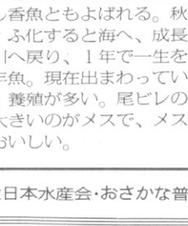
夏休みにはいなかのおばの家に行きました。山をこえ、延々三時間ほどかけて汽車でことこと行くのです。今はハイウェイが出来、サッと行けるようですが。海の辺りでランチを売りに来て、パンとレタスとトマトと海でとったアジくらいの魚をカリカリに揚げたのに辛いソースをかけてパンにはさみ、おいしかったのを覚えています。

こんなことをよく覚えているのは、私が子どものころから食べ物や料理のことに興味があったからでしょうか。レストランに行っても、キッチンに入りこんでしまって、料理を見ているような子だったんですよ。（岸ニエベス・トヨ談）

私の父がペルーに行ったのは大正八年です。ペルーの日系人は商業従事者が多いのですが、私の父もリマで写真館を開き、成功しました。今でもシラサカ（白坂）写真館というと、古いペルーの方は知っていますよ。

昭和十一年、十四歳のとき、私は日本に帰り、父母の故郷の福島の県立女学校に入りました。親が四人の子の教育は日本でと考えたのですが、船賃が百円。そのころ百円といえば大そうな金で、一人の子を教育し大学にまでやれる金だと聞きました。

私は、女学校がすんだらペルーに帰る予定だったのですが、卒業を目前にした十二月、太平洋戦争がぼっ発。卒業後上京し、栄養学校に通いました。戦争と敗戦で、ペルーに帰れなくなり、こちらで結婚。子どもが二人できたのですが、卒業を目前にした十二月、太平洋戦争がぼっ発。卒業後上京し、栄養学校に通いました。戦争と敗戦で、ペルーに帰れなくなり、こちらで結婚。子どもが二人できたのですが、夫に死なれ、働きつづけ子どもを育てることになりました。その後、ペルーに行ったのは一度だけです。でも、私はペルーが大好きでよく覚えています。のどかで、温暖で…。



＜ひと口メモ＞

アユ＝アユ科

清流の女王と呼ばれ、岩についた珪藻を食べるためよい匂いがし香魚ともよばれる。秋に産卵、ふ化すると海へ、成長すると川へ戻り、1年で一生を終える年魚。現在出まわっているのは、養殖が多い。尾ビレの開きの大きいのがメスで、メスの方がおいしい。

㈳大日本水産会・おさかな普及協議会

「東中野日記Ⅲ」

―九十二歳

藤田たき　著

毎年出ているこの日記も三冊目となった。それにしても、九十歳からの日記が、それについての感想などが入り、時代がよくわかり、そのまま〝現代史〟になっている感じさえする。身体の不自由をおして、集会やコンサートなどの出席も結構多いようで、この活力、好奇心、感動してしまう。もし、自分に長寿が与えられるなら、このように老いたいと思う。

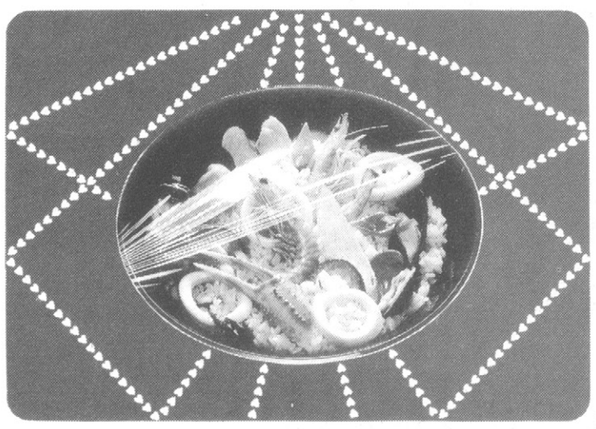
（枝）

（ドメス出版　二千六十円）

クレハ

電子レンジと
いい関係。

品質で選んでも、
ニュークレラップです。



パエリヤ風シーフードピラフ　洗った米、シーフード、スープ、サフラン、塩、こしょうなど、すべての材料を大きめの器に入れ、ニュークレラップをかけて電子レンジへ。加熱中に一度出して底からかきまぜ、最後に10分ほど蒸らすのがおいしさのポイント。潮の香りゆたかに、ふっくらと仕上がります。

耐熱温度140℃。電子レンジメニューに大活躍。

「ヒヤしてもヌクめても、ずいぶん丈夫やねぇ、このラップ」「ね、頼りになるって感じでしょ」蝶々さん、麻由美さん、わかっていただいて、本当にありがとうございます。ニュークレラップは中身のラップが違うんです。－60℃から140℃までの温度にもビクともしないから、フリーザーから出して、そのまま電子レンジで加熱しても大丈夫。おまけにバツグンのコシの強さとツキの良さで、味と香りを逃がしません。上手に使えば、お料理のレパートリィもグンとひろがることウケアイです。

フルーツが目印のニューデザイン。3サイズ揃って発売中。

ニュークレラップ　幅30cm×長さ20m　ミニ　幅22cm×長さ20m　ミニミニ　幅15cm×長さ20m

もうごぞんじですね、「クルッ、ピッ」のクレハカット。

正しく切ればダンゼン便利。おなじみ、ワンタッチラッピングのクレハカット。包みたいものの上にラップをサッと引き出したら、箱を内側にクルッとまわしてピッ。まとわりつかず、シワにもならず、そのままラクに包めます。

おかげさまで好評です。使えばナットク親切ラップ。

いつでもスグに引き出せる、ラップ巻き戻り防止ストッパー。中身が飛び出す心配のない、ボックスカートンタイプ。おまけにカッターの部分も安全な位置に設計。この親切、この便利、使うほどに必ず実感していただけます。

クレハカットの
NEWクレラップ®

クレハ 呉羽化学工業株式会社
リビング用品部　〒103東京都中央区日本橋堀留町1-9-11　TEL 03-3249-4653 直

SASO

女を、微妙にする香り

香妃と呼ばれた、美しい王妃の物語　その香妃伝説
からよみがえった沙棗花の香り、SASO
心を微妙にゆらす、神秘的な香りの力

パルファム……20mℓ 11,900円　8mℓ 5,900円

SHISEIDO

表示価格は税抜希望小売価格です